

茨城で、子ども保養プロジェクト実施

4月21～22日、「福島の子ども保養プロジェクトin茨城」が実施され、福島県のサッカーチームの子どもたちが茨城県に招待されました。



試合の行方を真剣な表情で見つめる子どもたち。

「福島の子ども保養プロジェクト in 茨城」は、「2012 国際協同組合年」を迎え事業連携する茨城県生協連、JA 茨城県中央会、いばらきコープ、パルシステム茨城、茨城県畜連の合同企画として実施されました。これは、春、夏、秋の全3回に及ぶ企画として予定されており、今回の第1回は、福島県のサッカーチーム3チーム、計74人が招かれました。

東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて、福島県のサッカーチームは、練習回数を減らして屋内で行なっているところが多くなっています。子どもたちはJ2所属のプロサッカーチーム、水戸ホーリーホックの選手・コーチによるサッカー教室に参加。その後「協同組合サンクスマッチ」の名称で協賛試合として開催されたザスパ草津戦を楽しみました。

茨城県生協連専務理事の古山均さんは、「震災で茨城県も被災し、全国の生協の皆さまから、募金や支援物資を送っていただいたこと、心より感謝いたします。おかげさまで生協の事業も継続させる事ができ、県内の被災者も大変助かりました。その恩返しも含め、今後もさまざまな支援活動を行なっていきます」と話していました。

「安心して住める『福島』を取り戻すための活動」への協力を呼び掛けます



東日本大震災復興支援
つながろう
CO-OP アクション

これまで、日本生協連は、被災地を支える活動のひとつとして「つながろう CO・OP アクションくらし応援募金」等への協力を各会員生協に呼び掛けてきました。

今回新たに、福島県生協連からの支援要請に応え、「安心して住める『福島』を取り戻すための活動」として下記の支援を呼び掛けます（お問い合わせ先：日本生協連組合員活動部・久保、木戸 03-5778-8124、kumikatsu@jccu.coop）

●呼び掛けの内容：

(1) 「安心して住める『福島』を取り戻すための募金」（あんしん福島募金）

- ① 募金対象：食品の放射線測定器 30 台、内部被ばくの検査装置 2 台（予定）
- ② 募金目標：1 億 3,600 万円
- ③ 募集期間：2012 年 5 月 25 日～2013 年 3 月 31 日

(2) 「安心して住める『福島』を取り戻すための署名」

署名を全国の生協に呼び掛け、日本生協連にて集約します。集約期間は、9 月末に 1 次締め切り、12 月末に最終締め切りです。10 月初旬と年明けに政府要請の場を設け、提出します。